

平成 24 年 11 月 20 日

ニュースリリース

平成 26 年度 健康科学部のさらなる発展に向けた取り組み
(医療福祉学科、心理学科の開設) について (構想中)
～地域の核となる大学を目指して～



「健康で長生きする」ことは、いつの時代でも人間の最も基本的な願いです。しかしながら、近年は、糖尿病などの生活習慣病やその予備軍たるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の増加、高齢社会の現出など、「健康の保持・増進」が問題となる状況が深まり、以前にも増して個人的・社会的に健康管理への関心が高まりつつあります。このような状況の中で、京都光華女子大学（学長：一郷正道）では、校訓である「真実心」すなわち仏教精神に基づく「慈悲の心（思いやりの心）」と「医療（看護・言語聴覚）」、「栄養」、「運動」、「福祉」、「心理」などに関わる高度な知識・技術を併せもち、人の生涯にわたる健康づくりを支援できる人材を育成することが、大きな社会貢献となると考えております。そこで、平成 26 年 4 月、既存の健康科学部をさらに発展させるべく医療福祉学科（社会福祉専攻、言語聴覚専攻）、心理学科を開設し、医療や福祉の現場をはじめ地域におけるさまざまなフィールドで活躍する専門職の養成に努めます。

◎健康科学部拡充のポイント

①相手の立場に立って支援ができる9つの女性の専門職の養成

現在、医療・栄養・運動・福祉・心理の現場では、多くの女性が女性としての特性を活かし活躍しており、今後ますますその役割は高まっています。本学では、仏教的情操教育により、思いやりの心を育むことで、ご家族を含め患者の皆さま一人ひとりに寄り添い支援できる女性の専門職（看護師、助産師、保健師、管理栄養士、健康運動実践指導者、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、言語聴覚士）を幅広く養成します。

②チーム医療の実践

NST (Nutrition Support Team: 医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士・社会福祉士などの各専門のスタッフが、それぞれの知識や技術を出し合い、栄養管理が必要な患者の皆さまに最良の方法で栄養支援するチーム)をはじめ、医療・福祉現場でチーム医療の実践が進んでいます。本学の健康科学部では、各学科が連携し、将来職場で必要となるチーム医療のマインドや実践力を養成します。

③包括的ヘルスケアシステムの構築

少子高齢社会におけるチーム医療は、単に病院内に限らず患者の入院前・退院後の在宅メディカルサポートを含んだ地域包括ヘルスケアシステムとして構築されなければ多様な時代の要請を応えることはできません。この地域包括ヘルスケアシステムの中では、①看護師による病院看護と在宅看護の情報一元化と連携強化②管理栄養士による疾病予防や治療に関わる栄養・運動サポート③臨床心理士・言語聴覚士による心理・コミュニケーション障害や嚥下障害サポート④社会福祉士、精神保健福祉士によるこれらの包括的チーム医療の企画・実施・行政財政調整、などの基本的な課題についての連携は不可欠です。本学部では地域における包括的ヘルスケアシステムの構築とそれらを担う人材の養成に努めます。

④京都府内の高等教育機関で初めて言語聴覚士を養成

言語聴覚士は1992年に制定された「言語聴覚士法」に基づく国家資格であり、他の理学療法士や作業療法士と比べ歴史が浅く、有資格者の数は約2万人と少数です。一方、現在わが国におけるコミュニケーション障害を有する者は600万人と推測され、そのうち専門家によるリハビリテーションが必要な者は200万人といった状況にあります。今後の高齢化社会を考えると、コミュニケーション障害を有する者、あるいは嚥下障害を有する者はさらに増加することが予測されています。こうした状況の中、言語聴覚士が活躍する場は、総合病院やリハビリテーション病院などの医療分野や介護老人保健施設や訪問リハビリテーション事業所などの保健分野、特別養護老人ホームや障害児施設などの福祉分野、さらに特別支援学級などの教育分野など多岐にわたり、人材不足も指摘されるところです。現在、京都府内には言語聴覚士を養成する高等教育機関は国公立・私立を問わずなく、本学が初めての養成施設となることから、医療機関、福祉施設、教育機関の関係者から高い期待をいただいております。

■学部学科再編の概要について ※詳細は別紙をご参照ください。

※なお、今回の改組計画に伴い、人文学部は募集停止といたします。

本件に関するお問い合わせ

学校法人 光華女子学園 広報グループ 担当：小間・堀井・垣貫
[TEL] 075-325-5221 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp
[URL] <http://gakuen.koka.ac.jp/>

各校園ごとのニュースやイベントなどの情報を随時更新しています。取材用資料として是非ご活用ください。

学校法人光華女子学園（理事長：阿部 敏行）では、「真実心」を校訓として、徳育教育に力を注いでおります。今後ともさらに地域の皆さま方に愛される美しい心を持つ人間の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

■学部学科再編の概要について（構想中）



なお、人文学部文学科は、平成26年度改組にあわせて募集を停止することとなりますが、その教育組織等は継続し、平成25年度ご入学の方をはじめ、在学生の皆さまには、入学時にお約束しているカリキュラムを継続し、ご卒業まで責任をもって教育にあたります。

◎医療福祉学科（社会福祉専攻、言語聴覚専攻） 定員（予定）：80名（各専攻40名）

現代医療・福祉の現場では、自ら考え行動できる自立的な専門職が、さまざまにチームを組んで対人支援を行う「チーム医療」や、地域における各施設間と在宅、行政が連携し合いながら対人支援を行う「包括的ヘルスケアシステム」時代へと向かっています。このような時代の中、思いやりの心をもって患者の皆さんやご家族一人ひとりに寄り添い支援ができる高い人間性を持った人材養成を基盤に据え、医師や看護師、助産師、保健師、管理栄養士、臨床心理士などの専門職と連携し、各分野が協力して予防・治療・介護医療の有効な実践が行える高い力量と応用力を備えた社会福祉士、精神保健福祉士、言語聴覚士の育成を目指し医療福祉学科を開設します。

◎心理学科 定員（予定）：80名

現代の地域社会では、急速で予測困難な社会情勢の変化、少子高齢化、IT技術の進歩に伴う人間関係の変貌、世代間の社会意識の懸隔、いじめや虐待の根深さの再認識、「現代型」うつ病の急増などにより、心理学の素養に基づく実践的な専門知識を身につけた人材の養成がこれまで以上に強く求められています。

こうした状況の中、本学の基盤である「思いやりの心、他者への配慮、ともに支え合う心」を育む教育の下、医療・栄養・福祉系のヒューマン・ケア専門職と連携した教育課程を編成し、本学科は次のような人材を養成します。

1. より実践的な対人援助の理論と技法を身に付けた心理カウンセラー
2. 高いコミュニケーション力や人間関係形成能力を持って、地域の人々の生活を支えるヒューマンサービス業で活躍できる人材
3. 人に対する多角的な視点を活かし、企業・組織での人事・企画、人材育成や能力開発部門で活躍できる人材

なお、心理学科では医療福祉学科との連携により、心理学を修めた学生の応用的な資格として精神保健福祉士の養成も計画しております。